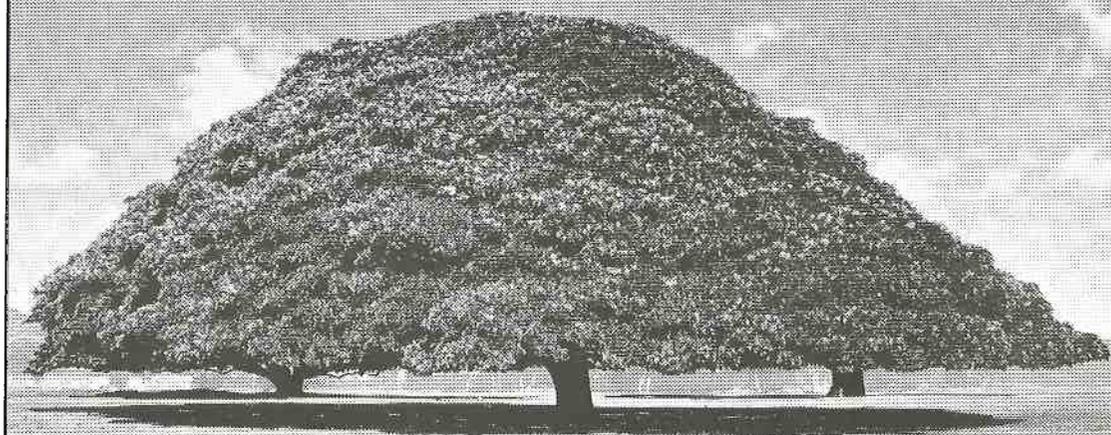


 **HITACHI**
— 技術の日立 —



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

第18回全国中学校選抜大会

8月17〜20日
山口市

男子は松橋中(熊本)が二連覇 女子は大瀬中(奈良)が初優勝

男子

1回戦

松橋	20	(1010 19)	13	総社西
(熊本)		(岡山)		
〔戦評〕前半、総社西のダブルマッソンツーマンディフェンスにはほんろうされ、松橋にミスが目立ち、互いにせり合う。				
しかし、後半に入ってシュート力に勝る松橋が、森山などのミドルシュートなどで得点を重ね、ふり切った。				
得	00052302000100000		13	
社	賀本野山野田江本田田田浪木本			
西	〔吉安間木小吉長高来山安黒西村橋〕		(2)	
GK	〔審・山根〕			
F	〔審・赤地〕			
P				
T				
橋	崎田井山川田瀧本山上山田村田村		(2)	
得	000000005023910000		20	
松	〔鶴山永内森吉米松秋瀨森池米上外〕			

板津

(石川)	24	(1311 4)	8	赤坂
(岐阜)				
〔戦評〕板津のフリースローからのミドルシュートでゲームが動き始める。その後もパスカットから速攻やサイドシュートで着実に得点を重ね、差を広げた。一方赤坂は、板津の堅いディフェンスに阻まれ思うように得点できず、7点差で前半を終了。				
後半も板津が終始自分たちのペースで試合運び、のびのびとしたプレーで赤坂を圧倒した。				
得	002222020000000000		8	
坂	水田村宮部野藤中橋水置田瀬岡寺			
赤	〔清池西宗田細武田佐清日安成松小〕		(1)	
GK	〔審・山根〕			
F	〔審・赤地〕			
P				
T				
津	指田伯田道水村田司岸黒野本上		(1)	
得	0021633331112100		24	
板	〔江石佐沢堂杉中灰久山石中山井〕			

日新

(山口)	34	(1618 103)	13	厨川
(岩手)				
〔戦評〕開始早々、キャプテンの松山の連続4得点など速攻を主体に早い球回しの日新が、堅い守りとキーパーの好守で、前半で早くも15点の大量リードを奪った。				
前半3点に押さえられていた厨川は、後半に入ってから動きが良くなり、ロングシュートやポストプレーで10得点をあげたが、日新はポストプレーやカットインなど多彩なプレーで順調に加点し厨川を圧倒した。				
得	002321050000000000		13	
川	辺澤正博田元川原部原本本田澤田			
厨	〔厨上浦柴武金小阿藤園山坂平金〕		(0)	
GK	〔審・島崎〕			
F	〔審・井上〕			
P				
T				
新	木村村山野上 田村山永庭添嶋口		(1)	
得	003158143000000000		34	
日	〔三荒河松森井 津中松大川西高〕			

中野

18 (8 | 11) 17上
町 (大坂)

〔戦評〕前半のなかばまで両チームともディフェンス、並びにGKの好守で一進一退をくり返す。12分過ぎ、中野・佐藤の左腕からの高打点のロングシュートや相手ディフェンスのスキをつくスタンディングシュート、ポストプレーで中野が上町に徐々に差をつけ、4点差で前半を折り返した。

後半に入り停電のため15分と3分間の2回の中断があり、ゲームの流れが上町に傾き始めた。後半8分には上町・岩崎のパスカットからの一人速攻で11-11の同点に追いついた。その後上町・呼子の退場があり2点差をつけられたが、上町・岩崎の5連続得点などで1点差として終盤を迎えた。終了3秒前、上町・植のロングシュートで同点かと思われたが、キーパーに阻止されてゲームが終了した。

後半に入り、国分寺第五のフオーメーションプレーがよく決まり、スピード、パワーともに綾南を圧倒して逆転勝ちを収めた。

〔戦評〕前半は両チームとも積極的に攻め合い、点の取り合いとなった。浦添は外間を中心にミドルシュートやカットインプレーで得点したのに対し、楠は宮川のみドルシュートとフオーメーションから左サイドに展開し、恩田のサイドシュートで得点を重ねた。15分を過ぎた頃より浦添のディフェンスが甘くなり始め、そのスキを突いて楠が堅実なプレーでリードして折り返した。

後半に入っても激しい点の取り

得	0060108200000000		17	
町	〔厨上浦柴武金小阿藤園山坂平金〕		(0)	
GK	〔審・岡村〕			
F	〔審・古富〕			
P				
T				
野	橋澤木林藤田藤弓池川澤野藤井藤		(0)	
得	001090330050000000		18	
中	〔諸大佐佐佐須真松北北生伊金遠〕			

得	001400011600000000		22	
野	〔上野野落藤谷木田間藤上橋寄〕		(2)	
GK	〔審・長井〕			
F	〔審・加藤〕			
P				
T				
南	田場川村田川河本川中賀西藤谷田		(0)	
得	0090000000322220000		16	
綾	〔多馬小中山橋十岡小田伊小佐深増〕			

得	001090330050000000		18	
野	〔諸大佐佐佐須真松北北生伊金遠〕		(0)	
GK	〔審・岡村〕			
F	〔審・古富〕			
P				
T				
野	橋澤木林藤田藤弓池川澤野藤井藤		(0)	
得	001090330050000000		18	
中	〔諸大佐佐佐須真松北北生伊金遠〕			

〔愛知〕 21 (1011 | 11) 18 浦添

得	001090330050000000		18	
野	〔諸大佐佐佐須真松北北生伊金遠〕		(0)	
GK	〔審・岡村〕			
F	〔審・古富〕			
P				
T				
野	橋澤木林藤田藤弓池川澤野藤井藤		(0)	
得	001090330050000000		18	
中	〔諸大佐佐佐須真松北北生伊金遠〕			

〔東京〕 22 (139 | 51) 16 綾南

〔戦評〕前半は両チームともロングシュートの打ち合いとなり、迫力のある試合展開となった。スピ

後半に入っても激しい点の取り

合いとなり、一進一退の攻防が続いた。11分、12分と浦添が相手パスをカットして得点、キーパーの好守から速攻し同点に追いつく白熱したゲームとなった。最後は展開力にやや勝る楠が逃げ切った。

得000005180010300
浦添川田山田場富間満高治原田倫山
浦原嘉
〔西親津津前田武外川久福棚松西瑞〕

G K F (審・古・富) P T (2) 18

楠
〔島木村野川田岡野田輪井藤〕
〔中鈴西大宮福富恩吉牧芦荻松後〕

松陽 13 (310-6) 12 (南) 部 (富山)

〔戦評〕前半、松陽は速い展開から神吉のカットイン、中野のロングシュートで得点を重ねる。一方南部も宮永のミドルシュートで得点するが、ポイントでのノーマクシュートを松陽G K塩井が防いで前半を4点差で折り返す。後半、南部は速攻を中心として同点

得001202102000040
〔南〕木浦下江波谷田横野田下崎木永勢
〔南〕三海堀宇廣穴稲青越宮尾三宮荒

G K F (審・岡・村) P T (0) 12

〔井田吉野 根田田干 谷 岡井谷〕
〔塩米神中 添黒綱 紙 寺福神〕

13 (3) P T

に追いつき、1点を争う好ゲームとなったが、相手のミスもあって松陽が1点差で逃げ切る。

深浦 26 (1412-2) 6 (北) 部 (北海道)

〔戦評〕前半、深浦は保科、守田の鋭いカットインやポストプレーで得点を着実に重ねて点差を広げた。後半1分、場内停電で15分間の中断があり、釧路北も平岩の得点で反撃に出るが、深浦は後半も守田を中心に足を使った攻撃でチーム全員で得点を重ねた。

得000111210000000
〔釧路北〕本井黒田本岩崎岡場倉 境江 部
〔釧路北〕杉照石岡山平山石駄熊 西

G K F (審・井・島・崎) P T (0) 6

〔深浦〕本田本田科本川尾野本本孝和本松
〔山森岩守保岩前竹森有宮叶井橋下〕

2 回戦 津

松橋 14 (77-5) 11 板

〔戦評〕両チームとも大声援の中あがることもなくのびのびと行ない、1点を争う好ゲームとなった。松橋は米満、森山を中心にロングシュート、ポストプレーで攻めるのに対して、板津はG K江指の好守から得点を重ねていった。

後半18分、退場で1人欠けていた松橋は再び米満の決定的なロングシュートが決まり、勝利を収めた。

得0012320100002000
〔板津〕指田伯田道水村田司岸黒野本 上 林
〔板津〕石佐沢堂杉中灰久山石中山 井

G K F (審・岡・村) P T (2) 11

〔橋〕橋田井山川田満本山上山田村田村
〔鶴山永内森吉米松秋淵森池米上外〕

中野 27 (33-10-11) 24 日 新

〔戦評〕日新は松山にボールを集めロングシュートで勝負。一方中野は6人の粒がそろっており、どこからでも攻撃ができるチームである。中盤より中野は松山をマンツーマンディフェンスし、一時日新の攻撃の歯車が狂った。その後、フ

得00212143200000000
〔新〕木村山野上 田村山永庭添嶋口
〔日〕三荒河松森井 津中広松大川西島

G K F (審・井・島・崎) P T (3) 24

〔野〕橋澤木林藤田藤弓池川澤野藤井藤
〔諸大佐紅佐須真松北北生伊金遠〕

27 (3) P T

リースローからの松山のロングシュートが決まり、一進一退の油断のならない好ゲームとなった。終盤、日新は追いつき延長戦となるが、よく守り、確実にシュートを決めた中野が追いつがる日新をふり切った。

楠 19 (118-5) 11 国分寺第五

〔戦評〕スタートから両チームとも激しい攻防をくり返す。まず楠が国分寺第五のディフェンスのスキをついたカットインで得点を重ねて次第にリードを広げ、前半を8-5で折り返す。後半に入って国分寺はベイスをつかむかと思われたが、エースの佐々木の退場もあって結局19-11で楠が勝利を収めた。

得00330032000000000
〔分〕上野野落藤谷木田野田藤石上橋寄
〔国〕井天小水育荒佐永間柴内尾坂高片

G K F (審・山・根) P T (1) 11

〔楠〕島木村野川田岡野田輪井藤
〔中鈴西大宮福富恩吉牧芦荻松後〕

松陽 18 (117-5) 13 深 浦

〔戦評〕松陽が神吉、中野のロングシュートで得点すれば、深浦も守田を中心とした攻めで対抗、1点を争う展開となり、8-7と深浦の1点リードで前半を終了。

19 (0) P T

Your Staff Daiwa

これからの時代、情報と金融は(ダイワ)が大いにお役に立てる分野です。



大和銀行



Daiwa Bank



男子は松橋中が二連覇を飾る

後半に入っても1点をめぐる攻防は変わらず、松陽・神吉がロングシュートを決めれば、深浦はフオーメーションでリードを守ろうとしたが、松陽GKの塩井の好キープングなどで攻めあぐみ、松陽が逆転勝ちを取めた。

得点	0033520000000000
本場	本場
浦本	浦本
深本	深本
山森	山森
岩守	岩守
保岩	保岩
前竹	前竹
森有	森有
高叶	高叶
叶橋	叶橋
下	下
GK	F P (審・増田)
井田	井田
吉野	吉野
根田	根田
田干	田干
谷	谷
岡井	岡井
谷	谷
松	松
塩米	塩米
中添	中添
黒網	黒網
紙	紙
寺福	寺福
神	神
得	0073060001010000
18	(1)
P T	(4)
13	

準決勝

松 橋22 (1012 | 5) 10中野

〔戦評〕序盤、松橋・森山、米満、中野・佐藤、須藤のロングシュートの打ち合いで早いテンポのゲーム展開となった。中野は10分過ぎ足首を痛めた佐藤が交代してからの動きが鈍り、松橋の速い動きからのロングシュート、カットインで一気に点差を広げられた。

後半に入っても終始コートいっぱいには動き回った松橋はロングシュートを中心に多彩な攻めで中野を圧倒した。

得点	0012402010000000
野橋	野橋
澤木	澤木
林藤	林藤
田藤	田藤
池川	池川
澤野	澤野
藤井	藤井
藤	藤
中諸	中諸
大佐	大佐
佐柴	佐柴
須真	須真
松北	松北
北生	北生
伊金	伊金
速	速
GK	F P (審・井上)
崎	崎
井山	井山
川田	川田
満本	満本
山山	山山
田村	田村
村	村
松	松
鶴山	鶴山
永内	永内
森吉	森吉
米松	米松
沢池	沢池
米上	米上
外	外
得	0022066020100000
22	(1)
P T	(0)
10	

橋 18 (117 | 5) 14松陽

〔戦評〕前半、橋は西村のミドルシュートや福田のカットイン、恩田のサイドからのシュートと素晴らしい展開から着実に得点を重ねた。一方松陽は、神吉、中野のロングシュートを軸にフオーメーションを組み立て、果敢にシュートを放

ったり、相手のミスをついて速攻、ノーマークとなり、得点のチャンスが何度かあったが、橋GK鈴木の好守に阻まれ、リードを許したまま前半を終了した。

後半に入り、橋は福田の鋭いフエイントやカットインからチャンスを広げて得点。松陽も神吉のロングシュートに頼りすぎ、攻撃がやや単調になった。攻撃の多様さGKの守備力に勝る橋が松陽の追撃を押さえて勝利した。

得点	0054021010010000
陽	陽
井田	井田
吉野	吉野
根田	根田
田干	田干
谷	谷
岡井	岡井
谷	谷
松	松
塩米	塩米
中添	中添
黒網	黒網
紙	紙
寺福	寺福
神	神
得	0054051200000000
18	(2)
P T	(3)
14	

GK F P (審・増田)

橋	橋
島木	島木
村野	村野
川田	川田
岡野	岡野
田輪	田輪
井藤	井藤
渡	渡
中鈴	中鈴
西大	西大
宮福	宮福
富恩	富恩
吉牧	吉牧
声豊	声豊
松後	松後
得	0054051200000000
18	(2)
P T	(3)
14	

決勝

松 橋18 (9 | 5) 11橋

〔戦評〕松橋がフリースローから確実に得点してゆけば橋はフエイントからのサイドシュートで同点としてゆき、一進一退の攻防が続いた。松橋・米満と森山がマークされているなか、内山のカットイン、速攻が冴え、前半9 | 6と松橋が頭一つリードした。後半に入っても互いに譲らない

展開であったが、フリースローからの米満の確実なシュートと森山のカットイン、永井のミドルシュートで粘る橋を僅かずつ引き離していった。

結局シュート力で勝る松橋が18 | 11と橋を破り、全国優勝を成し遂げた。

女子

1回戦

小津 21 (9 | 7) 13安慶田 (沖繩)

〔戦評〕安慶田はカットインやフオーメーションを中心に、一方小津はロング、ポスト、サイドと多彩な攻撃で試合が展開された。しかし、ポスト、サイドで確実に得点を重ねた小津が前半を大きくリードした。後半に入り、安慶田の池原など

得点	0011010100000000
慶田	慶田
島佐	島佐
村山	村山
嘉真	嘉真
名原	名原
原利	原利
江屋	江屋
渚	渚
安慶	安慶
田中	田中
富比	富比
川喜	川喜
池喜	池喜
友桑	友桑
志川	志川
得	0003443250000000
21	(2)
P T	(1)
13	

GK F P (審・中森)

津	津
木竹	木竹
井石	井石
川村	川村
曾井	曾井
野田	野田
田尾	田尾
村崎	村崎
田	田
小志	小志
久中	久中
大平	大平
辻末	辻末
中安	中安
福和	福和
妹北	妹北
平神	平神
得	0003443250000000
21	(2)
P T	(1)
13	

〔戦評〕前半、シュートチャンスは五分五分であったが、小杉にシュートやラインクロスでミスが目立つ一方国分寺はロングシュートなど確実に得点していった。

後半、互いに決め手を欠き、点が入りにくくなったが、前半のリードがきき、接近戦をものにした。

得点	0003400000000000
杉	杉
瀬谷	瀬谷
口泉	口泉
村地	村地
谷原	谷原
崎又	崎又
田長	田長
台	台
小杉	小杉
長辰	長辰
今新	今新
光	光
鶴池	鶴池
岡坂	岡坂
高	高
高土	高土
得	0003400000000000
11	(3)
P T	(1)
7	

GK F P (審・野村)

分	分
国	国
分寺	分寺
得	0023441010000000
11	(3)
P T	(1)
7	

に勝る富山がリードを広げていき、ディフェンスも1・5で粘り強い守りを見せ、後半一気に引き離して富山が勝利を取めた。

愛知教員 B 24 [113 | 1010] 20 長崎教員

〔戦評〕前半、愛知Bがサイドシュート、ブラインドシュートなどで加点していくのに対して、長崎はミドルシュート、ポストプレーを使い、離されまいと粘りを見せていた。長崎は速攻のチャンスが愛知GKにこごとくつぶされたのが痛く、前半は13-10と愛知Bが3点をリードして終了。

後半は、若い長崎の速攻と熟練者の多い愛知のセットプレーで互角の展開を見せていた。しかし、長崎の方にミスが多く見られ、結果的にそれが点差となって表われた。

得点 0 1 2 2 5 1 7 0 0 1 1
 長崎 菅 村 村 田 玉 尾 谷 浜 田 村
 〔長平〕 初山 福 児 松 三 白 福 藤

G K F P (審 佐 田 伯 宮) P T (0) 20

〔愛知〕 川 藤 須 井 飼 神
 得点 0 8 1 4 3 3 5
 早 伊 高 細 鷗 天

スワロー 43 [1924 | 135] 8 ポルシエク
 (兵庫)

〔戦評〕スワローが上原のシュートで先制、その後も体力、技術に勝るスワロー兵庫が着々と得点を

重ね、一方的な展開で前半を終了。後半も相手のミスから速攻、また両45度からのロングシュートなどで得点を重ねたスワロー兵庫が大差で勝利を取めた。

得点 0 0 0 3 1 2 1 1 0 0
 田 郷 賀 雄 川 名 橋 本 藤 野
 喜 喜 宮 志 高 黒 蛇 三 滝 佐 日 根

G K F P (審 新 松 庄 島) P T (0) 8

〔兵庫〕 田 内 田 本 原 脇 岡
 得点 0 4 8 8 13 7 0 3
 近 浜 竹 保 森 上 船 松

コンドルズ 28 [1414 | 9] 18 桃太郎ク
 (茨城)

〔戦評〕前半のなかばまで岡山のセットプレー、茨城の速攻などで互角のゲームであったが、終盤、茨城の速攻が決まり、14-9と5点をリードして前半を折り返した。後半、立ち上がりから茨城が多彩なセットプレーや固いディフェンスからの速攻などで着実に加点していった。両チームともよく走

得点 0 5 2 3 2 5 0 1
 山 慰 山 村 野 木 川 田 岡
 〔岡大〕 奥 三 青 赤 丸 西 松

G K F P (審 秋 庭 村) P T (2) 18

〔城見〕 田 部 田 川 藤 山 井 川 島 沢
 得点 0 0 1 5 0 0 3 2 6 3 3 5
 稲 横 阿 安 長 佐 横 吉 長 小 海

G K F P (審 秋 庭 村) P T (2) 28

るゲームであったが、後半のなかばから岡山のかえりが悪くなり、茨城がじりじりと引き離して逃げ切った。

山口県 21 [110 | 712] 19 愛媛教員 B

〔戦評〕前半、山口がスローベースでリードを争うが、15分過ぎから愛媛も関谷を中心にスピードのある攻撃でリズムに乗り加点、前半を2点リードで終了。

後半、山口は巧みなパスワークで愛媛のリズムを崩し逆転、そのまま愛媛の足を封じ勝利を取めた。

得点 0 4 0 1 1 7 4 2
 媛 村 中 谷 川 橋 谷 利 原
 〔愛中〕 田 関 石 高 関 毛 田

G K F P (審 井 上 橋) P T (3) 19

〔山口〕 本 地 根 本 野 宗 村 田
 得点 0 4 9 3 1 0 1 1 2 0
 山 加 坂 赤 山 吉 山 重 河 石

いぬわしく 27 [116 | 1412] 26 京都教員
 (石川)

〔戦評〕前半はディフェンスもオフフェンスも足を使って素早い動きの石川が着々と加点した。京都も前半残り2分頃からよく走り、追いつけて4点差で前半を終了。

後半に入り、京都・川勝のロングシュートが決まりだし、石川のディフェンスも甘くなって反則も多く雑になってくる。しかし、石川もがんばり、接戦を逃げ切った。

G K F P (審 森 高 山 橋) P T (1) 17

〔川井〕 得点 0 2 6 3 2 4 0 1 3 0 5
 西 田 勝 井 島 田 地 井 口
 〔鳥〕 奥 福 川 角 北 大 森 福 今 谷

G K F P (審 草 原 田) P T (1) 26

〔石川〕 田 橋 村 井 山 田 村 山
 得点 0 1 6 5 1 0 1 1 7 6 0
 小 高 古 中 酒 八 中 田 寺

東京教員 32 [1616 | 116] 17 三重教員

〔戦評〕前半、両チームともセット中心の攻防で始まったが、15分頃から三重の動きが鈍くなり、無理なシュートが多くなり、そのシュートミスなどを東京は速攻に結びつけ、また比留間、大東を中心としたセットプレーにおいてもロング、ポストなどで確実に得点をあげて16-6と大差をつけて前半を折り返す。

後半も東京のペースで展開され、スピード、スタミナともに東京が秀れ、速攻などでさらに点差を広げた。

得点 0 1 4 3 3 2 3 1
 重 谷 川 井 山 内 山 藤 川
 〔三神〕 細 仲 片 敷 丸 近 梶

G K F P (審 森 高 山 橋) P T (1) 17

〔東田〕 田 東 代 我 内 間
 得点 0 7 4 4 2 7 8
 大 和 浜 大 田 曾 山 比 留

G K F P (審 森 高 山 橋) P T (1) 32



創業71年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭 光

本 社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

香川教員 29 [1316 | 1510] 25 熊本教員ク

〔戦評〕エース北島のロングシュートを中心に組み立てる大型チーム熊本に対し、小柄ながら切れの良いカットインプレーで得点を狙う香川の対戦は、ゲーム開始早々から五角の好ゲームとなった。しかし、次第に香川のスピードあるコンビプレーが次々と決まり、6点をリードして前半を折り返した。後半に入ると、熊本は積極的な攻撃に切り替え、3点差まで追いつけた。しかし、ここで香川はサイドアタック、速攻で再び突き放し、前半の点差を守って逃げ切った。

得0	0	1	3	6	6	5	4	0
熊本	野	中	松	田	川	北	四	野
GK	F	P	審	久	池	田	保	
								PT
								(0)

〔戦評〕前半、4分に宮崎が速攻により先制、以後宮崎は速攻を中心にコンスタントに得点を重ねた。一方広島は、相手ディフェンスを攻めめぐみ、7分30秒に米田のロングシュートでようやく初得点。その後も米田のロングシュートで

対抗、前半を11-7と4点差で折り返す。

後半、宮崎は前半同様速攻を中心に着々と加点、それに対し広島はコンビが合わず得点も単発的で結局27-13で宮崎が勝利を収めた。

得0	7	0	0	1	0	2	2	0	1
廣島	三	谷	田	山	辺	野	代	村	辺
GK	F	P	審	中	増	田	森		
								PT	
								(2)	13

〔戦評〕前半立ち上がり、愛知Aが久保田、徳永の連続得点でリードする。神奈川Aは13分過ぎに市原のポストシュートで同点とし、いったんは逆転したが、愛知Aも終盤追い上げ再逆転、1点をリードして前半を終了。

得0	4	4	3	1	4	5	0	1	3	2
愛知	和	田	車	部	山	田	幸	辺	藤	高
2	2	10	10	11	9					
2	2	24	24	神	奈	川	教	員	A	
										PT
										(2)

後半も前半同様両チームとも早いボール回しからの攻撃と愛知AGKの好守で一進一退のゲーム展開となる。神奈川Aは17分過ぎに逆転するが、愛知Aも残り1分に再び追いつき延長戦となる。延長戦でも両チームとも譲らず結局PTCで愛知が勝利を収めた。

得0 4 3 1 0 4 3 9
地 田 永 光 本 保 本 健
本 岩 徳 岩 松 久 鈴 若
本

〔戦評〕前半、お互い激しい攻防の中、埼玉はミドルシュート、カットインで連取するが、京都も高い位置からのロングシュート、ポストシュートが決まり有利な展開となる。GKの好守もあって9-5と京都が4点をリードして前半を終了。

得0	4	5	1	2	4	2	1	0	4	1
愛知	井	黒	鈴	小	山	釜	市	吉	遠	千
GK	F	P	審	岡	水	本				
										PT
										(3)

2 回戦

〔戦評〕前半、お互い激しい攻防の中、埼玉はミドルシュート、カットインで連取するが、京都も高い位置からのロングシュート、ポストシュートが決まり有利な展開となる。GKの好守もあって9-5と京都が4点をリードして前半を終了。

得0	0	7	2	0	1	1	2	0	0	
埼玉	秀	英	藤	本	田	中	引	井	平	
GK	F	P	審	吉	庭	村				
										PT
										(3)

後半、埼玉はステップシュート、カットインで得点をあげることが、京都はディフェンスを固め、速攻、

ロングシュート、スカイプレーなど多彩な攻撃で埼玉をふり切った。

〔戦評〕前半出だしから攻守ともに勝る茨苑クラブが速攻で着々と加点し、大きくリードして前半を終えた。後半に入っても茨苑クラブのペースは変わらず、瀬戸大橋オールスターズの反撃も散発的に終り、茨苑クが余裕をもってふり切った。

得0	1	0	1	1	3	2	0	0	1	2
戸島	本	西	田	保	田	野	宅	谷	松	脇
GK	F	P	審	中	村					
										PT
										(1)

〔戦評〕前半、お互い激しい攻防の中、埼玉はミドルシュート、カットインで連取するが、京都も高い位置からのロングシュート、ポストシュートが決まり有利な展開となる。GKの好守もあって9-5と京都が4点をリードして前半を終了。

得0	0	6	4	1	3	4	5	5	0	
茨苑	太	雨	今	高	浜	福	黒	松	北	
GK	F	P	審	中	村					
										PT
										(1)

後半、埼玉はステップシュート、カットインで得点をあげることが、京都はディフェンスを固め、速攻、

得0 4 4 1 0 1 2
井 田 野 田 安 納 林 元
福 柴 竹 半 田 加 小 岩

〔戦評〕前半出だしから攻守ともに勝る茨苑クラブが速攻で着々と加点し、大きくリードして前半を終えた。後半に入っても茨苑クラブのペースは変わらず、瀬戸大橋オールスターズの反撃も散発的に終り、茨苑クが余裕をもってふり切った。

得0	0	6	3	2	5	4	3	0	1	
沖繩	新	東	佐	仲	大	金	仲	高	伸	
GK	F	P	審	多	杉	田				
										PT
										(1)

〔戦評〕前半、お互い激しい攻防の中、埼玉はミドルシュート、カットインで連取するが、京都も高い位置からのロングシュート、ポストシュートが決まり有利な展開となる。GKの好守もあって9-5と京都が4点をリードして前半を終了。

得0	3	1	3	3	6	0	2	0		
茨苑	太	雨	今	高	浜	福	黒	松	北	
GK	F	P	審	四	宮					
										PT
										(3)

後半に入っても前半の流れは変わらず、福井もよく食い下がったが、沖繩がそのまま逃げ切った。

飯島、橋本を中心に機動力を生かしたプレーを展開し、点差を広げる。一方宮崎は、山口の組織ディフェンスを突破することができず、苦しい試合運びとなった。

後半に入ると、一進一退をくり返すが、若さに勝る山口が徐々に引き離し勝利を収めた。

得0	1516900
原	廣口野木立原倉
橋	原
宮崎	末石長船粟曾米

G K F P (審・島田)

P T (1) 22

得0	4633322312
山口	飯橋吉 岡原中白倉片
古	
谷	島本兼 村井村川谷山

愛媛教員A21 [1011 | 53] 8静岡教員団

〔戦評〕前半、静岡は愛媛の堅いディフェンスを攻め切れず、シュートミス、パスミスなどが目立ち、逆速攻から点を取られるという形となり、苦しい展開。

後半に入っても、シュート力、

得0	20210210
静岡	田石松野塚水田下
勢	
能	太夫村小佐清栗桐

G K F P (審・松島)

P T (2) 8

得0	4023660
内	中岡子福野田原
愛媛A	田定金東上川柳
竹	

脚力に勝る愛媛は攻撃の手をゆるめず、静岡を圧倒した。

わかくさく 25 [916 | 117] 18富山教員

〔戦評〕富山はよく動くもののディフェンスの高いわかくさクラブを攻め切れず、また、わかくさくはロング、サイド、カットインと選手がよくかみ合い、得点をあげて点差を広げた。

後半になり富山はよく動いてベイスをつかみ、わかくさくは単調な攻めに動きも鈍くなり、そこを速攻などで得点したが、前半の失点が響いた。

得0	22024113121
山波	上山内塚野井浦原口永
富須	植栗竹幸上沢中金坂秀

G K F P (審・松島)

P T (1) 18

得0	0000111544
谷本	谷本野林丸田沼
か	大森矢小金村管
枇	

〔戦評〕栃の葉クラブの速い攻めにに対し、愛知Bはセットオフエンスを中心にしてゲームを展開した。ブラインドからのポストプレー、またGKの的確な位置どりによるキーピングにより前半は栃の葉クが5点をリードして終了。

後半は、栃の葉クの厳しいディフェンスからの速攻が決まりだし、

その力の差を見せつけた。

愛知B 河 早伊高細鶴天

得0	402123
川	川藤須井飼神
合	
河	早伊高細鶴天

G K F P (審・増田)

P T (1) 12

得0	2613214
兵	田内田本原脇岡
庫	
近	浜竹保森上船松

G K F P (審・吉庭)

P T (1) 19

得0	2613214
田	田内田本原脇岡
庫	
近	浜竹保森上船松

茨城 32 [1616 | 147] 21佐賀教員

〔戦評〕前半5分頃までは両チームともセットを中心とした攻撃で4-3と茨城がリードしていたが、佐賀のシュートミスや茨城GKのナイスキーピングなどを生かした逆速攻で着々と点差を広げた茨城が8点をリードして前半を終了。

後半は佐賀も粘りを見せなるとかくらいいついていったが、ディフェンス力とスピードに勝る茨城が前半のリードを保って逃げ切った。

得0	0525005202
佐賀	本木上原松田 地原山
賀	
谷	柳白三川小弁 宮宮中

G K F P (審・杉山)

P T (3) 21

得0	004122516409
茨	稲横阿安長佐横吉長小海
城	
見	見田部田川藤山井川島沢

G K F P (審・多山)

P T (3) 32

得0	22615010001
山	本地根本崎 村田富田
加	
坂	坂赤山吉山 河村古石

G K F P (審・高橋)

P T (3) 18

得0	16615313115
村	村川川田保本辺塚平本
田	
稻	稻寿井吉久塚渡石古谷

G K F P (審・井橋)

P T (1) 32

得0	2613214
兵	田内田本原脇岡
庫	
近	浜竹保森上船松

G K F P (審・秋庭)

P T (1) 19

得0	0042915132000
橋	染石中四山新武 滝小中川
谷	
田	谷田田元下開井 口西山田

G K F P (審・井橋)

P T (1) 32

得0	2613214
兵	田内田本原脇岡
庫	
近	浜竹保森上船松

〔戦評〕試合開始時は互いによく

ライオンズ 32 [1418 | 144] 18山口県教員団B

〔戦評〕前半5分頃までは両チームともセットを中心とした攻撃で4-3と茨城がリードしていたが、佐賀のシュートミスや茨城GKのナイスキーピングなどを生かした逆速攻で着々と点差を広げた茨城が8点をリードして前半を終了。

後半は佐賀も粘りを見せなるとかくらいいついていったが、ディフェンス力とスピードに勝る茨城が前半のリードを保って逃げ切った。

得0	0525005202
佐賀	本木上原松田 地原山
賀	
谷	柳白三川小弁 宮宮中

G K F P (審・杉山)

P T (3) 21

得0	22615010001
山	本地根本崎 村田富田
加	
坂	坂赤山吉山 河村古石

一瞬のきらめきと 積極果敢な チャレンジャー

誰もいないグラウンド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のつぼと化してしまう。

セーも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場



本社 / 東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

守り、ロースコアの試合と思われた。しかし、山口は埼玉のスピードについていけず、速攻を次々と決められて点差は開くばかり。後半に入り、山口もカットインやステップで反撃するが、前半の失点が大きく逃げ切られた。

福岡教員 30 **9-16** **10 いぬわし**

〔戦評〕前半は大型の福岡のロングシュートに対していぬわしクラブは速い動きで応戦したが、ディフェンスの荒さがやや目立った。力強い攻撃を見せた福岡が3点をリードして前半を終了。

後半は福岡がよく走り、徐々に点差を広げていった。いぬわしは福岡のディフェンスを突破できず、反撃もままならず終わった。

得点 0 0 1 1 0 0 5 3 0
いぬわし 田橋村井山田村山
小 高古中酒八中田寺

G K F P (審・池田) (保)

〔福岡〕糸井田崎島賀山田木野川
〔福岡〕七沢野山牧古塩藤白平 堤 早
得点 0 0 2 1 6 4 2 4 2 2 2 5

東京教員 27 **16-11-8-13** **21 鹿野**

〔戦評〕東京が浜田の3連取で優勢な立ち上がりを見たが、鹿野クラブもリバウンド、カットインで追いつき、東京・山内の退場の間に2点を連取して逆転した。そ

の後一進一退の攻防を見せて、鹿野の2点リードで前半を終了。後半も一進一退の展開を見せたが、10分過ぎに東京が追いつき、16分過ぎから東京が4点を連取、一気にペースに乗って勝利を収めた。

得点 0 1 2 7 1 7 1 0 1 1
鹿野 田川飼川田木内藤
藤吉鳥染山村鈴堀伊

G K F P (審・中園) (本)

〔東京〕田東代我内間
〔東京〕大和 浜大田曾山比留
得点 0 4 6 3 4 4 3 7

滋賀教員 20 **12-8-15-14** **19 香川**

〔戦評〕滋賀が能波と井上のポストとサイドシュートで得点していたが、香川は高島と片山の速攻で着々と加点、14-8と6点をリードして前半を折り返す。

後半に入ると、今度は逆に滋賀の速攻が決まりだし、10分過ぎに

得点 0 2 4 1 5 0 0 1 0 2 4
香川 井辺谷里濱山田島山島
〔香川〕大 亀渡泉渡上西前真片高

G K F P (審・岡山) (馬場口)

〔滋賀〕田藤波上田野山田
〔滋賀〕山 田藤波上田野山田
得点 0 3 4 9 2 2 0 0 0

は逆転、その後香川も反撃して同点としたが、残り15秒、滋賀・能波の速攻が決まって勝負がついた。

千葉教員 26 **9-17-10-10** **20 宮崎**

〔戦評〕お互いにポスト、ロングを使った攻めで互角の展開。14分過ぎから千葉が仲村、飯名、仲村と3点を連取してリードを奪い、さらに20分過ぎにも3点を連取、7点をリードして前半を終了。

後半に入り、宮崎は柳田のロングを中心に富永らがよく走り、3点差まで詰め寄ったが、千葉も仲田らの得点で再度突き放して逃げ切った。

得点 0 0 0 2 5 4 3 0 1 4 1
宮崎 車部山田幸辺藤高永啓
〔宮崎〕和 花本春柳押渡伊戸富押

G K F P (審・中園) (本)

〔千葉〕松藤鍋村田木田鐘名水藤原
〔千葉〕平数川仲仲佐寺大飯泉加浅
得点 0 0 4 4 5 7 0 0 4 3 0 2 1

愛知教員 A 20 **8-12-9-10** **19 長野**

〔戦評〕前半、愛知は岩本のロングシュートを中心に、長野はポストを使った攻撃を中心に戦い、12-10と愛知の2点リードで折り返す。

後半に入っても両チームともに攻撃パターンは変わらず、1点を争うゲームとなった。長野が速い

パス回しで懸命に追い上げたが、愛知は1点を守って逃げ切った。

得点 0 0 0 2 5 2 4 1 0 5 0 0
長野 野島内川田糸山原下越林平
〔長野〕伴北竹塩行中小小岩鳥若大

G K F P (審・岡山) (馬場口)

〔愛知〕田永光本田木健
〔愛知〕本 岩徳岩松久鈴岩
得点 0 1 1 4 0 0 3 2 9

3 回戦

京都教員 35 **18-17-11-15** **16 茨苑**

〔戦評〕地方に勝る京都が多様な攻撃からコンスタントに得点をあげ、前半で勝負を決した。

後半に入り、茨苑クも必死の反撃を見せたが、京都の高いディフェンスに最後まで苦しみ、得点差を詰めることができなかった。

得点 0 0 0 0 5 1 2 3 4 1 0
茨苑 田谷井野野田石信村田
〔茨苑〕大雨今高浜福黒松北久

G K F P (審・佐伯) (四宮)

〔京都〕下本府間本辺田村村水藤井
〔京都〕山咲国佐楠池西中西清加酒
得点 0 0 3 3 6 3 1 3 6 6 1 4 2

35 (2) P T (0) 16



打ちこんでしまう性格です。

好きなことを、好きなだけやっているうちに、ここまで来た。
面白いなあ、くやしいなあ、うれいなあと書いているうちに、ここいた。
ボールいっこあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無頼の幸せ者なんだ、と思います。

Tango®

株式会社 **molten®**

HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
※天然皮革製 衝撃吸収品・手縫い
日本リーグ男子試合球

株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 電話 03-625-7581 代
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・フェッセルドールFW.G.

沖縄教員 31 [1615 | 139] **22 岡山教員**

〔戦評〕立ち上がり岡山は相手シュートミスを速攻につなげ7点を先取したが、沖縄も速攻、速いボール回しからの攻撃などで応戦、互角の試合となった。15分過ぎから相手ミスをすべて得点に結びつけ、6点を連取した沖縄が前半をリードした。

後半に入り、岡山はセットからのロング、サイドシュート、沖縄は速攻での得点とともに譲らぬ好試合となったが、前半のリードを生かした沖縄が勝利を収めた。

得0	4	1	6	4	1	3	3
山清	塚和	本圭	守篤	山野	山野	山野	山野
岡板	中大	山板	本山中	板上			
(0)							22

G K F P (審・鈴木)

得0	0	0	8	4	6	1	2
沖恩	新東	佐仲	大金	仲高	仲金	仲高	仲金
繩垣	納平	本城	毅間	良田	昭	昭	昭
(4)							31

山口県 教員団 A 25 [1312 | 128] 20 愛媛教員団 A

〔戦評〕山口の角が左45度からのロングシュートで先制、その後山口は多彩な攻撃で着実に得点を重ねる。一方愛媛は、山口の堅いディフェンスを攻めあぐみ思うように得点が伸びず、終盤追い上げたものの12-8と山口の4点リードで前半を折り返す。

後半、山口のセットプレーに對

し愛媛は相手のミスから得意の速攻につなげ、全く互角の展開を見せるが、前半のリードを守った山口が逃げ切つて勝利を収めた。

得0	4	2	5	3	5	1	0
愛媛	竹	田定	金東	上川	柳		
A内	中岡	子福	野田	原			
(4)							20

G K F P (審・岡本)

得0	3	3	3	6	0	4	2
山古	飯橋	吉	角	原中	和倉	片	片
山口	島本	兼	村井	村田	谷山		
(0)							25

栃の葉ク 29 [1514 | 156] 21 わかくさ

〔戦評〕立ち上がり、両チームともに雑な攻めであったが、栃の葉クラブが先にペースをつかみ、14-6と大きくリードを奪つて前半を終えた。

後半に入りと全く一進一退の互角の展開となり、わかくさクラブも懸命の反撃を見せたが、前半の点差が大きく及ばなかった。

得0	0	1	0	4	3	1	0
谷本	野林	丸田	沼	沼	谷		
大森	矢小	金村	管				
(1)							21

G K F P (審・池田)

得0	0	0	3	2	2	0	5
業谷	田田	元下	開井	岸	口西	山田	山田
業谷	田田	元下	開井	岸	口西	山田	山田
(2)							29

岐阜教員 25 [1312 | 108] 18 茨城

〔戦評〕岐阜は林、名倉の速攻でリード、一方茨城は海老沢のミドル、吉井のサイドで反撃するが、10分過ぎよりディフェンスに疲れが見えだし、退場者を出す間に着実にリードを広げて逃げ切つた。

得0	0	0	1	0	1	0	5
見田	部田	川藤	山井	川島	沢		
茨城	福横	阿安	長佐	横吉	長小	海	
(1)							18

G K F P (審・松村)

得0	0	0	4	2	0	0	8
田藤	倉島	野瀬	藤木	野尾	尾橋		
岐阜	野加	名飯	牧川	加鈴	上西	高	
(4)							25

福岡教員 30 [1515 | 1011] 21 埼玉

〔戦評〕福岡は立ち上がりからスピードのある攻撃で速攻、セットからのロングシュートなど多彩な攻めで得点を重ねた。一方埼玉もテクニカルなシュートで高い福岡のディフェンスを崩し、食いついて前半を15-11で折り返した。

後半も福岡はスピードと高さを生かした攻撃で着々と加点、点差を広げて勝利を収めた。

得0	3	5	7	0	0	0	1
村川	川田	保本	辺塚	平本			
埼玉	村川	川田	保本	辺塚	平本		
(2)							21

G K F P (審・島田)

得0	0	0	5	1	1	3	6
岡岡	桑井	田崎	島賀	田木	野堤	堤	堤
岡岡	桑井	田崎	島賀	田木	野堤	堤	堤
(1)							30

滋賀教員 23 [149 | 712] 19 東京教員

〔戦評〕東京がミドルシュートでリードを奪うが、滋賀も山根のロングシュートを中心に反撃し、18分まで7-7の同点。しかし、東京は速攻からのポストをからめて連取、12-9と3点をリードして後半を終る。

後半立ち上がり、滋賀はサイドシュートで4点を連取して逆転。東京は攻めが単調となり、滋賀の速攻が次々と決まって勝負が決した。

得0	3	5	1	0	4	2	4
田東	代我	我川	内間				
東京	田東	代我	我川	内間			
(3)							19

G K F P (審・阿部)

得0	3	1	2	7	2	2	0
田藤	波上	田野	山根				
賀山	田藤	波上	田野	山根			
(5)							23

愛知教員 A 24 [1212 | 129] 21 千葉教員

〔戦評〕愛知は走りを生かしてフエイントや速いパスでシュートに結びつけて得点していたのに対し、千葉はロング、ポスト、サイドシュートを見せたが、相手GKの好守もあって12-9と愛知が3点をリードして折り返す。

後半に入り、千葉は開始早々一気に同点としゲームを盛り上げたが、その後シュートをGKに阻止



大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151

● 赤坂シャンピアホテル ● 青山シャンピアホテル ● 大阪シャンピアホテル ● 防府シャンピアホテル ● 姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国、慶州(キョンジュ) 東京事務所 ☎(03)585-5751

★予約センター
東京予約センター ☎03(583)1001
名古屋予約センター ☎052(203)5489



名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858

● 赤坂シャンピアホテル ● 青山シャンピアホテル ● 大阪シャンピアホテル ● 防府シャンピアホテル ● 姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国、慶州(キョンジュ) 東京事務所 ☎(03)585-5751

★予約センター
大阪予約センター ☎06(312)1751
北海道予約センター<札幌> ☎011(232)3731
東北予約センター<仙台> ☎022(224)0078

● 料金(税込)
シングルA.....6,180円
シングルB.....6,540円
シングルC.....6,740円
ダブル.....12,360円
ツイン.....11,330円

● 料金(税込)
シングルA.....6,690円
シングルB.....7,100円
ツイン・ダブル.....11,330円
トリプル.....14,630円

され、逆速攻で愛知が加点、結局前半のリードを守った愛知が逃げ切った。

得0 0 1 1 1 0 0 3 2 0 3 0
松藤 鍋村 田木 田鐘 名水 藤原
業

G K F P (審・中村)

知地 田永 本本 田木 本
愛本 岩徳 岩松 久鈴 若
得0 5 1 4 0 5 4 5

4 回戦

京 都 教 員 26 [1214 | 18 | 7] 15 沖 縄 教 員

〔戦評〕小粒ながらきびきびした動きでフェイント、カットインプレーによる得点を狙う沖縄と大型バワフル京都の対決は、立ち上がりから京都優位で展開した。京都はコンビプレーに力量を見せ、速攻のバランスもよく、鍛え

得0 0 2 1 2 0 3 3 4 0
繩垣 納平 本城 綾間 良田 昭
沖 恩 新 東 佐 仲 大 金 仲 高 仲 金
新

G K F P (審・大木)

都下 本府 間本 辺田 村村 水藤
京 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
得0 0 5 1 6 0 2 3 1 4 4

26 (6) P T (1) 15

られたチームであった。沖縄も部分的には切れの良いプレーを見せたが、勝敗を左右するところまでは至らなかった。

得0 0 1 1 1 0 9 0 2 0 2 0 4
山 口 泉
教 員 団 A

G K F P (審・清水)

〔戦評〕栃の葉クの山下、滝口、山口の角の打ち合いとなり、前半10分で6-5と栃の葉クが一步リード。その後山口は栃の葉クの高いディフェンスを攻めめぐみ、13-9と栃の葉クが4点をリードして前半を折り返す。

後半に入り、両チーム互角の戦い展開するが、12分、栃の葉・山下の退場をきっかけにリズムを取り戻した山口が18-18の同点に追いつく。しかし、気力に勝る栃の葉が再び山口を突き放して逃げ切った。

得0 0 1 4 9 0 3 3 0 0 1
山 口 泉
飯 橋 吉 岡 原 中 白 倉 片

G K F P (審・岡本)

〔戦評〕福岡・牧島、岐阜・加藤のロングシュートで始まった。岐阜は足を生かした速攻、カットインで加点するのに対し、福岡は野

得0 0 1 0 1 0 1 1 0 3 0 9 0 0
業 谷 田 田 元 下 間 井 口 西 山
の 石 中 四 山 新 武 滝 小 中
橋 染 石 中 四 山 新 武 岸

G K F P (審・阿部羅)

福岡 教 員 26 [1412 | 9 | 10] 19 岐 阜 教 員

田のロング、古賀のポストシュートで応戦。18分まで10-10だったが、福岡が速攻を決めて12-10と2点をリードして前半を終了。後半、福岡のロングシュートが決まり差が開きかけたが、岐阜もスピードを落とさず粘り、激しい試合となった。ロングの決定力が上回った福岡の高さの勝利であった。

得0 0 1 1 1 0 9 0 2 0 2 0 4
早 田 藤 倉 島 野 藤 木 野 尾 橋 村
早 田 藤 倉 島 野 藤 木 野 尾 橋 村
岐 野 加 名 飯 牧 加 鈴 上 西 高 奥 林

G K F P (審・草原)

〔戦評〕セットプレーとテクニク主体の滋賀と速い動きからのセットと速攻の愛知というそれぞれの持ち味を出した好試合で、両チームとも譲らぬ一進一退の展開を

得0 0 5 0 6 4 0 2 1 1 3 7
福 七 澤 野 山 牧 古 塩 藤 遠 平 堤
福 七 澤 野 山 牧 古 塩 藤 遠 平 堤

愛 知 教 員 A 21 [1011 | 12 | 8] 20 滋 賀 教 員

得0 1 2 4 8 5 0 0 0 0
賀 山 田 藤 波 上 田 野 山 根 田
滋 松 位 伊 能 井 武 大 橋 山 林

G K F P (審・森山)

知地 田永 光本 田木 健
愛本 岩徳 岩松 久鈴 若
得0 3 3 1 0 3 3 3 8

21 (0) P T (1) 20

見せたが、20-20の同点からの終了20秒前に、愛知・久保田のステップシュートが決まって、愛知が勝利を収めた。

準決勝

栃の葉ク 24 [4 | 2 | 2] [7 | 1 | 9] [11 | 9]

〔戦評〕両チームとも技術的に平均した力を持った選手が揃っており、試合開始よりハイレベルのプレーが展開された。栃の葉クは滝口を中心に5分間で3点を先行、しかし京都も菊本の速攻などで15分には1点差とし、結局11-9と栃の葉クの2点リードで前半終了。後半立ち上がり栃の葉クがリードを広げたが、京都が中盤に逆転一時は2点のリードを奪ったが、終了寸前に栃の葉クが追いつき、延長戦に。延長戦も京都が先手をとったが、栃の葉クが滝口、武井のゲットで逆転、熱戦を制した。

得0 0 4 1 4 1 4 0 3 4 1 2 3
都下 本府 間本 辺田 村村 水藤
京 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
得0 0 2 0 6 0 5 4 6 1 0

G K F P (審・高橋)

業 谷 田 田 元 下 開 井 口 西 山
の 石 中 四 山 新 武 岸
橋 染 石 中 四 山 新 武 滝 小 中

24 (1) P T (0) 22

24 (1) P T (0) 22



召しませ自然。

シャトレゼのお菓子は山梨育ち。日本の果実郷と極上の酪農地帯です。澄んだ空気と豊かな自然を、満載しています。そして、日本中をのびのびと笑顔でみたをうとシャトレゼのフレッシュパワ、ソトポール部ともども、21世紀に向けて、さらに大きく飛躍しようとしています。

株式会社シャトレゼ
山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

福岡教員19 (910|13) 16愛知教員A

〔戦評〕愛知・岩本が先制してゲームが始まる。愛知はスピード豊かな攻撃で着々と加点、福岡も野田のロング、速攻で追いかけて、13-10と愛知の3点リードで前半を終了。

後半福岡は、パワープレーで4点を連取して逆転、その後一進一退の展開を見せたが、福岡がじりじりと引き離し逃げ切った。

得0 5020135
知地 田永光本田木健
〔愛本 岩徳岩松久鈴岩 本本〕

G K { F P (審 岡本) (審 清水) }
福岡教員19 (2) P T (1) 16

3位決定戦

京都教員ク28 (1612|7) 10愛知教員A

〔戦評〕立ち上がり速攻とカットインで京都が連取、その後両チーム10分間ノーゴールと貧攻が続く。パワーと高さで勝る京都が12-3と大きくリードして前半を終了。

後半に入ると、愛知がスピードあるプレーで追い上げたが、京都は持ち前のパワーで徐々に点差を広げ、大差をつけて勝利を収めた。

得0 2330101
知地 田永光本田木健
〔愛本 岩徳岩松久鈴岩 本本〕

G K { F P (審 高橋) (審 森山) }
京都教員19 (2) P T (0) 10

決勝

福岡教員29 (1217|1213) 25栃の葉ク

〔戦評〕両チームとも速い動きで決勝戦にふさわしい好ゲームとなった。福岡は、野田のロング、早川のサイド速攻を中心に全員がよく走り、好ムードで4点をリードして前半を折り返す。

後半は、両チームGKの好守で大変ひきしまった好ゲームとなる。栃の葉クラブも必死の追い上げを見せるが、福岡が前半のリードを守って逃げ切り、栄冠を獲得した。

得0 003030829000
業谷田元下開井 口西山田
〔栃 柴石中四山新武 滝小中川 岸〕

G K { F P (審 岡本) (審 清水) }
福岡教員29 (1) P T (4) 25

女子

1回戦

山形教員25 (1213|4) 13茨苑ク (茨城)

〔戦評〕山形は村川のロング、小林のカットインなどで得点。茨苑クラブも矢口、大越のカットインなどで得点し、15分まで5-5と互角の展開。しかし、山形はずらしのプレーから活路を見出し、その後相手ミスからの速攻も出て、しだいに引き離し、13-9と4点をリードして前半を終了。

後半に入り、茨苑クもセットプレー、サイドへのずらしなどで反撃を試みるが、逆に山形の速攻にあい点差を広げられてしまった。

得0 00702031
苑井 田平口原田越口
〔茨 酒 横金矢連海山 老 大田〕

G K { F P (審 大和) (審 鈴木) }
山形教員25 (0) P T (2) 13

形部 林川山野野澤
〔山 渡 小村漆飯今黒 部〕

長崎ク 15 (917|6) 13群馬教員 (長崎)
〔戦評〕立ち上がりはお互い攻守にキビキビした動きで始まったが、パスミス、オーバーステップ、ラ

インクロスなどのイージーミスが双方に目立ち、また両GKの好守もあって6-6というロースコアのまま前半を終了した。

後半開始早々、長崎はP.Tを続けて2本はずし、相手ミスからの速攻もGKに好守されるなどリズムに乗り切れなかったが、最終的にはシュート数に勝った長崎が2点差をつけて逃げ切った。

得0 300072001
馬原 坂木山引瀬木田沢田
〔群 石 鈴 横 綿 荒 高 井 大 岩 大 工〕

G K { F P (審 阿部羅) (審 浜野) }
長崎教員21 (1110|6) 12岐阜教員

〔戦評〕神奈川は、ロング、ポスト、カットインなど多彩な攻撃で確実に得点を重ねた。一方岐阜もよく動いて攻めたが、神奈川の堅いディフェンスに阻まれ、10-6と神奈川が4点をリードして折り返す。

後半に入っても流れは変わらず総合的に勝る神奈川が堅い守りと速攻で得点を重ね、リードを広げて勝利を収めた。

長崎ク 15 (917|6) 13群馬教員 (長崎)
〔戦評〕立ち上がりはお互い攻守にキビキビした動きで始まったが、パスミス、オーバーステップ、ラ

ねばりは頑張り 気力は体力



効能・効果
●滋養強壮●虚弱体質
●肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
●発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社
ワフナガ
●札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901
●大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382

得0 01154100
 早井 島藤 川山田田江
 岐今 中安 芥杉奥山安

G K F P (審・鈴木和)

藤野島池山保測室倉村
 藤野島池山保測室倉村
 神加中野小野大岩安高中
 得0 029045100

G K F P (審・鈴木和)

埼玉教員 21 (1110-117) 18 兵庫教員
 白小鳩 (戦評) 稲垣のフェイント、石井のロングを中心としたセット攻撃主体のテクニカルハンドを展開する埼玉と尾上、和田の速攻を中心としたスピードハンドを展開する兵庫は、お互いに一歩も譲らず互角の展開を見た。しかし、防衛において兵庫が再三にわたってラプラーによる退場者を出し、その間に確実に得点をあげた埼玉が勝利を収めた。

得0 02272410
 本茂 田上倉田尾野
 兵丸 吳尾小和中矢

G K F P (審・森山)

岸 島田井瀬方村田木
 岸 島田井瀬方村田木
 得0 205550040
 根 田七石稲百大田七鈴

G K F P (審・森山)

福岡教員 31 (1516-153) 8 千葉ク
 (戦評) 両チームとも最初から速

得0 0328553
 吉 久大北五相桜中
 村 保井畑川木村野

G K F P (審・阿部羅)

得0 0328553
 吉 久大北五相桜中
 村 保井畑川木村野

いテンポで試合を進めるが、お互いにパスミス、シュートミスが多く、得点につながらない。ディフェンスから速攻に結びつけ、点差を広げて16-3で前半を終えた。後半に入っても福岡の速攻やセットからの攻撃が決まり、着実に得点を重ねていった。千葉も再三福岡のゴールをおびやかすが、動きのいいディフェンスやGKの好守に阻まれ得点できなかった。

G K F P (審・岡本)

得0 0112400
 原 森野塚根田川井
 千笠 大天石海上谷水

G K F P (審・岡本)

得0 783115114
 上 今松敷妹田田橋長
 福野 村田田川中口本澤

G K F P (審・岡本)

得0 003252320
 鹿見鳥田本口来崎賀田代村
 永松川市山古倉神中

G K F P (審・阿部羅)

得0 0328553
 吉 久大北五相桜中
 村 保井畑川木村野

G K F P (審・阿部羅)

得0 0328553
 吉 久大北五相桜中
 村 保井畑川木村野

G K F P (審・阿部羅)

得0 0328553
 吉 久大北五相桜中
 村 保井畑川木村野

その後サイド、ポストなどで加点20分には8-6と追いつく。しかし、栃の葉が再びロングなどで突き放し、14-7で前半を終了。後半に入っても栃の葉のリズムは変わらず、鹿児島も終盤懸命の粘りは見せたもののふり切られた。

G K F P (審・岡本)

得0 101122111
 田 垣清崎木永林村原
 山口 柴 飛松岡藤豊栗山河吉

G K F P (審・岡本)

得0 005100730034
 鏡 鈴三天細寺大富古浅尾
 知 木宅野田田保田河野崎

G K F P (審・岡本)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

た京都は、その後もロング、ポストと確実に加点し、精彩を欠く山形を終始圧倒、17-1と大差をつけて前半を終了。後半に入っても京都の勢いは衰えず、速攻を中心にノート狭しと走り回り、大差をつけて勝利を収めた。

G K F P (審・井上)

得0 202010
 形部 林川山野野澤
 山渡 小村漆飯今黒

G K F P (審・井上)

得0 006393335540
 京 添本野上尾田辺井橋上
 都 畑山矢池中藤渡酒小井

G K F P (審・井上)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

G K F P (審・森山)

得0 0022006530
 田丸川路丸 田津山山
 崎 増石谷小石 境 中塩藤郡

新しい時代を作ってゆくのは、
 新しいひらめき。
 そして、ひらめきを実現してくれる
 素材が求められます。
 常に新しい技術で新しい夢をかなえる
 素材をお届けしてきた日新製鋼。
 これからも時代に応える
 新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
 東京都千代田区丸の内3-4-1
 (新国際ビル) ☎03-256-5111 〒100

たところで速攻などで3点を連取
優位に立った。

後半に入つて、神奈川は速攻と
ポストから、長崎は中田、塩津の
活躍で点の取り合いとなったが、
神奈川が前半のリードを保って逃
げ切つた。

福岡教員 22

10	6
7	11
4	3
1	2

22 埼玉教員
白小鳩

3 PTC 2

〔戦評〕試合開始から両チームと
も素早い動きとボール回しでポ
ストからのシュートで得点し、互
角の立ち上がりを見せる。しかし、
福岡のオフエンス、ディフェンス
がやや上回り、4点差をつけて前
半を終る。

後半に入り、福岡にシュートミ
スがあり徐々に埼玉ベイスとなり
残り5分に同点に追いつく。1点
を争う試合展開となったが、17
で延長戦に。
延長に入つて福岡が2点をリ
ド、このままかと思われたが、埼

得0	村田	G K			
上	田川	F P	審・増		
3	中口		森		
5	本澤				
3					
0					
0					
5					
4					
0					
2					
22	(5)	P T			

玉も懸命に粘つて再び追いつき、
勝敗はとうとうPTCに。結局福
岡が3-2でPTCを制し、大熱
戦に決着をつけた。

〔戦評〕両チームともスピード豊
かな攻防を展開し、前半のなかば
まではサイド攻撃や逆速攻などを
確実に得点に結びつけた栃の葉が
優位に展開。愛知もディフェンス
を固めて追い上げ、2点差で前半
を折り返す。

後半も技の栃の葉と力の愛知が
一進一退の攻防を展開、残り3分
で同点。その後1点の重圧に両チ
ームともシュートが決まらず、延
長戦かと思われたが、残り5秒、
栃の葉・五十畑のシュートが決ま
り決着がついた。

〔戦評〕開始早々、栃の葉の大久
保が左サイドからのシュートで得
点、福岡もすぐに松田のロングで
同点とし、一進一退の展開かと思
われたが、スピードにやや上回る

得0	保井	G K			
0	畑川	F P	審・高		
3	木村		山		
2	野		橋		
2					
2					
8					
3					
2					
0					
20	(3)	P T			

準決勝

京都教員 36

1917-75

12 神奈川教員

〔戦評〕前半、神奈川はカットイ

得0	村田	G K			
上	田川	F P	審・増		
7	中口		森		
5	本澤				
6					
0					
3					
0					
0					
0					
3					
24	(4)	P T			

〔戦評〕両チームとも速いテン
ポで好ゲームを展開。栃の葉も必
死の追い上げを見せたが、神奈川
GK加藤の好守にあつてあと一歩
及ばなかった。

後半は、両チームとも速いテン
ポで好ゲームを展開。栃の葉も必
死の追い上げを見せたが、神奈川
GK加藤の好守にあつてあと一歩
及ばなかった。

得0	保井	G K			
0	畑川	F P	審・高		
2	木村		山		
1	野		橋		
2					
6					
1					
0					
3					
15	(1)	P T			

得0	藤野	G K			
0	島池	F P	審・中		
4	山保		増		
2	久保		森		
1	畑川				
1	木村				
3	野				
1					
0					
1					
13	(1)	P T			

福岡が次第にリードを広げ、13-
8で前半を折り返した。
後半は、双方ともに疲れからか
ミスが目立ち、思うほどの得点が
あげられず、結局23-15で福岡が
勝利を収めた。

3位決定戦

神奈川教員 13

9-13

11 栃の葉
女子教員

〔戦評〕両チームとも守つて速攻
を中心に攻撃する同タイプの対戦
開始1分、栃の葉・中野の速攻で
先制。神奈川もすぐに小池のミド
ルで追いつき、以後一進一退の展
開を見せたが、栃の葉が大事など
ころでパスミス、シュートミスを
犯し、自滅の形で6点差がついて
前半を終る。

得0	添本	G K			
0	野上	F P	審・阿		
0	田尾		部		
0	田井		羅		
0	橋				
2					
0					
2					
0					
9					
0					
3					
2					
18	(1)	P T			

〔戦評〕立ち上がり両チームとも
に固さが見られ、京都はPTを3
本はずなどリズムに乗れなかつ
た。10分過ぎ頃より両チームとも
ようやくリズムをつかみ、見応え
のあるゲームとなり、9-9の互
角で前半を折り返した。
後半、京都は福岡・長澤の退場
の間に2点を連取、リードを3点
にまで広げた。しかし、福岡も終
盤激しく追い上げ1点差としたが、
一歩及ばなかった。
両チームGKの好守もあり、決
勝戦らしい好ゲームであった。

決勝

京都教員 18

9-9

17 福岡教員

〔戦評〕両チームとも速いテン
ポで好ゲームを展開。栃の葉も必
死の追い上げを見せたが、神奈川
GK加藤の好守にあつてあと一歩
及ばなかった。

女子

▼予選リーグ

ギヤロップ レ・ク 12	7 (静岡)	ポストク
ギヤロップ レ・ク 10	5 (大阪)	チエイサー
チエイサー 11	4 (1)	3 ポストク
〔順位〕①ギヤロップ・レディスク②チエイサー③ポストク		
○ロケループ		
神埼ク 13	5 (4)	6 古都ク
〔佐賀〕	8 (2)	(京都)
日川ク 13	4 (4)	9 神埼ク
〔山梨〕	9 (5)	
古都ク 13	8 (5)	8 日川ク
〔順位〕①神埼ク②日川ク③古都ク		
○ハケループ		
香川ク 14	7 (3)	8 風見鶏ク
〔香川〕	7 (5)	(兵庫)
香川ク 18	9 (5)	10 倭成OG
〔東京〕		
風見鶏ク 12	9 (3)	9 倭成OG
〔順位〕①香川ク②風見鶏ク③倭成OG		
○ニケループ		
あゆみク 11	5 (4)	7 滋賀ク
〔三重〕	6 (3)	(滋賀)
あゆみク 12	5 (4)	10 徳山ク
〔山口〕	7 (6)	(山口)

徳山ク 15 (9 | 7 | 3) 10 滋賀ク

〔順位〕①ジャスコあゆみク②徳山ク③滋賀ク

○ホケループ
広島ク 15 (9 | 8 | 5) 13 小松ク (石川)

広島ク 13 (6 | 5 | 1) 6 オレンジク (栃木)

小松ク 10 (4 | 3 | 3) 6 オレンジク

〔順位〕①広島ハンドボールク②小松ク③オレンジク

▼決勝トーナメント1回戦
小松ク 16 (5 | 11 | 7 | 6) 13 日川ク

チエイサー 14 (7 | 7 | 5 | 7) 12 風見鶏ク

▼2回戦
あゆみク 12 (4 | 8 | 3 | 8) 11 香川ク

徳山ク 22 (11 | 11 | 11 | 7) 18 神埼ク

小松ク 11 (5 | 6 | 4 | 5) 9 小松ク (レ・ク)

▼準決勝
広島ク 18 (8 | 10 | 6 | 4) 10 小松ク (チエイサー)

大会を終えて

○参加選手年齢分布 (男子)

40以上	9	2	6%
35以上	21	6	2%
30以上	54	15	9%
参加者	340	24	7%
参加者	200	46	5%
25以上	50	25	0%
30以上	29	14	5%
35以上	10	5	0%
40以上	4	2	0%

参加選手年齢分布ですが、30歳以上の選手が24・7%、21歳を締めています、35歳以上でも、8・8%、17・0%の選手が参加しています。

以上の事から、一日の試合数・試合時間を考えてみるか、年齢別の組み合わせ・大会を一考する必要がありますか。

特に女子のチームの子供連れの選手の休憩場所の確保が大事だと思います。ママさんチームの参加はハンドボール競技の将来に欠かせない大事な資源ではないでしょうか。小さな時から母親と一緒にボールに馴染むことは本当に大切なすばらしい環境ではないでしょうか。

今回の大会のギヤロップ・レディスは、高年齢(34・4)でした

が、子供達の「ママがんばれ」の声援で予選2勝での通過はすばらしかったと思います。この子供達が母親そのグループを通じてハンドボールに目を向け興味を持ってくれる事ほどうすばらしい事はないと思います。

クラブの大会も大切ですが、ママさんハンドボールの大会も考える時期が来ているのではないのでしょうか。女子チームでは25歳以上が50%近くを締め既婚・子ずれの選手が多く、年1回の顔合わせを楽しむに参加のチームも多く見られました。

男子にしても年齢別の大会にすれば、オールドボーイを呼び戻すことができるのではないのでしょうか。

その他として、会場の固定化。固定していると、毎年はだめとしても、旅費宿泊費を予算化して計画的に参加しやすくなります。

試合時間も男女別・年齢別に考慮し、試合方法も考えてみると大会は実施できます。

審判も上につながらない大会です。各チームの帯同審判(1名・監督・コーチ・マネージャー兼任可)でいいと思います。開催地は審判長と補充の審判員を数ペアーで準備すればよいのですから大会運営も軽減することができます。

大会運営も軽減することができます。大会参加費と協会交付金で運営するためにも必要だと思います。

くらし、ひろげる**ジャスコ**のカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。
ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。

お支払いもいろいろ
●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
●手数料なしのおトクな
一回払い
●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。




高知インターハイを振り返って



浦和実業学園高校
監督 山田克彦

年号も平成と替わり、その元年度、第40回記念すべき大会において昨年度女子の初優勝に引き続いて今年も男子が5年振り2度目の優勝を果たすことが出来ました。これはこの上ない喜びであります。

今年185cm3人を揃えてこの初の大戦チームとしてスタートを切った。夏場はウエイト・トレーニング中心に体力づくりとシユート力の向上のためかなりの時間をかけてポジシヨンシユートを練習させた。10月の新人戦地区予選では大型チームゆえに夏場のトレーニングの成果はまだ出ず、ディフェンス力不足、精神面の脆さもあって準々決勝、大宮南高校に15対15の引き分け、PTCを1対2で敗れ、5位という不本意な成績となった。大会の反省を生かすために、フットワークと1対1を練習内容に多く取り入れた。また、精神面においては、監督に怒られ

ても強く気持を持つことを約束させ、強化をはかった。11月、県新人戦が始まった。準々決勝、浦和学院と対戦、14対15で敗れて3位となったものの春の関東大会予選までにはどうにか勝負が出来る手応えを感じ取った。

冬場は新人戦の反省を生かしくにかく体力向上、精神力向上をはかった。体力面ではウエイトトレーニング、ハードル走、階段の登り降り、12分間走などを練習に組み入れた。苦しいトレーニングを克服させることによって精神面の強化をはかると共に、ミーティングを多く持ち、話し合いの中で選手一人一人の心づくりに専念した。特にキャプテンの永山君には「チームワーク」とは、「キャプテンシー」とはなどと考えさせたり、アドバイスをしたりした時期でもあった。

3月、春の全国選抜大会に初出

場した浦和学院高校が昨年のインターハイに引き続いてベスト4進出を果たし、本校も全国の上位を狙えるレベルにあることを確信して愛知県立名南工業高校においてこの強化合宿に参加させて戴いた。

ここでは、熊本市商高校、高岡向陵高校、小松明峰高校など毎年インターハイに出場するチームと練習をさせて戴き、選手たちはかなりの自信を持って帰って来た。すぐ翌日、千葉県東邦高校においてこの強化合宿に参加させて戴いた。名古屋遠征の疲れもあって少々動きは鈍いがディフェンスが少しずつ良くなって来た。もう少し前への詰めと2人、3人のコンビネーションディフェンスが確実になれば、関東大会県予選は優勝を狙えると思った。

5月、関東大会県予選が始まった。今大会は準決勝リーグにおいて大宮南高校と対戦、昨年11月の

新人戦地区予選では引き分け、PTCで負けているので気合いを入れて臨んだ。前半5分、キャプテンの永山君が左親指脱臼のために退場、交替して出場した185cmの田中君がよくロングシユートを決めてくれて17対15で勝ち決勝へ進んだ。決勝では浦和学院高校と対戦、昨年新人戦では1点差で負けを喫したが、前回の反省を生かし、相手の攻撃を高さで守り切り、速攻で得点を重ねて20対12で圧勝。関東大会出場を決定づけた。

6月、栃木県で行われた関東大会では準決勝で横浜商工高校と対戦、手渡しパスからのずらしと左腕エース小沢君のロングシユートが守り切れず16対24と大敗を喫した。この日から「打倒・横商」を目標にインターハイ出場を目指した。

6月、インターハイ県予選が始まった。準決勝リーグを離無く勝ち上がり、決勝リーグを迎えた。「打倒横商」を目標として頑張ることを再認識させた。初戦、川口北高校と対戦、16対9で勝つ。ここで浦和学院高校が大宮南高校に18対20で敗れる波乱が生じた。2戦目、その浦和学院高校と対戦したが、前日大宮南高校に負けて気合いが入ったか、闘志をむき出しに気迫ある戦い振りりで12対17と完敗した。とうとう優勝チームは最終戦の対大宮南高校戦にもつれ込

んだ。最有力候補は大宮南高校で浦和実業学園高校に引き分けか勝てばインターハイ初出場。8点差以内で浦和実業学園高校が勝つと浦和学院高校の3度目の出場が決定する。浦和実業学園高校は9点差以上の差をつけなければインターハイの出場決定はならず、ほぼ不可能に近い戦いとなった。いよいよ事実上の決勝戦が始まるようにした時、サイドブレイヤーの笹井君が私の所に来て、「左腕エースの本間君にマンツーマンをつきたい」と願って来た。私はこの時ばかりは彼はインターハイ出場を諦めていないのだ、自分が負けを心に決めていたことがとても恥かしかった。また、OB、御父兄の皆様方も選手たちに叱咤激励してくれたことも大いに感謝すべき所であった。選手たちは本当に良く頑張ってくれた。前半、笹井君がマンツーマンを守り切り10対6で終了。後半は相手のシユートミス、GK加藤君(2年生)の好守もあって速攻、そして何よりも残り10分、キャプテン永山君のミドルシユートが4連続決まって試合を決定づけた。結局9点差どころか12点差をつけて22対10で快勝。4年振り4度目のインターハイ出場を果たした。

インターハイまで約1ヶ月。この時期にしっかりと調整して臨まなければならぬ。そう考えて、4つの段階に分けて練習計画を立て

てた。まず第1段階は体力トレーニング。暑さ対策も考えて、ジャズエリートパンツなど厚着で練習に参加させた。また、フットワークやウエイト・トレーニングを再度強化させた。第2段階はディフェンス力の強化。1・5と0・6のディフェンスの併用と組織ディフェンスを徹底させた。第3段階はシュート、パス技術の完全修得をはかった。シュートのフォームとコースの徹底、パスのテクニクなどを自分自身が実際にやって見せ、かなりの時間をかけて復習させた。そして第4段階は何と言っても精神面の強化。「心づくり」である。インスターハイ3度出場して3度ともベスト4以上。これからまず意識させた。また、チームワークの大切さ、特にキャプテンを中心にとまるところを確信させた。

さて、インスターハイ県予選後1週間、レギュラーメンバーの変更が生じた。185cmの田中君が腰痛のために練習を見学、その間に2年生の二川君がレギュラー入りを果たした。この起用はキャプテン永山君の思い切りの判断の良さの結果で、私も相談に来た時は思わず感心してしまった。実は3年生にもう一人185cmの浅利君(3年生)がいたからである。思い切った二川君の起用は大いに当たり、今まで以上のスピードと攻撃の幅が出来た。

7月22日、戸田スポーツセンターにおいてサマーカップ埼玉大会の前座試合に関東大会県予選と埼玉県国体選抜チームとの壮行試合が埼玉県ハンドボール協会の御協力によって実施された。インスターハイへ臨む最後の練習試合と思つて、今まで4段階に分けて練習した成果を見るのに調度良い機会となった。試合は20対17で勝ったもののまだポストへのパスカット、ロングシュートへの詰めが甘さが目立った。しかし勝った事によって安心感と多少の自信となった気がした。いよいよ8月2日、インスターハイ出発の日がやって来た。負傷者も出ず、とりあえず万全を期して臨めることとなった。

8月4日、開会式に参加。横浜商工高校、明星高校の選手たちには自信たっぷりの余裕を感じさせられた。8月5日、春の全国選抜大会ベスト4だった浦和学院高校の実績によってシードとなり、2回戦に当たることとなった沖縄県コザ高校と広島県修道高校の試合を観戦することとなった。この試合はコザ高校の勝利となり明日対戦することとなった。ミーティングではサイド速攻のつよし、センターの変則シュート、ロングシュートの詰めを指示した。

8月7日、3回戦、滋賀県長浜北高校と対戦することとなった。このチームとは春の名古屋遠征にて対戦し、1点差で負けたが選手たちは自信がある様子に見えた。前半こそノーマークシュートのはずしが多く8対6であったが、後半は13対2結局21対8で楽勝した。8月8日、準決勝は奈良県正強高校と対戦することとなった。相手のチームは手渡しパスをセンターのカットインプレーを主とした攻めであり、準決勝で横浜商工高校と当たる前の良い練習だと考えて試合をするように指示した。あくまでも「打倒横商」が目標だと短いミーティングで終わりにした。結果、手渡しパスは守り切りはするものの、センターのカットインプレーが守れず、前半10対9と苦戦をした。後半は再三ノーマークシュートははずし佐藤君と交替させて新井君を起用したところ、2点サイドより連取してくれてムードを盛り上げてくれた。結果23対18で辛勝した。いよいよ目標である「打倒横商」の日が……と思っていたら、横浜商工高校は愛知県岡崎城西高校に2点差で負けるという大波乱が生じた。結果を聞いて喜んで良いのやら安心して良いのやら、とても複雑な心境となった。しかし、岡崎城西高校は大型チームであり、パワーのある左右のフロウターを揃えており、

油断をせぬ様指示をした。選手たちは横浜商工高校が敗れたためにやりやすい雰囲気を持った。8月9日、準決勝は立ち上がり相手のロングシュートで先取点を取られるもののディフェンス、GKの好守で守り切り、速攻、ミドルシュートなどが良く決まり、前半14対3と意外と大差が開き、楽な試合展開となった。後半も同じような展開となり、控え選手を起用してレギュラーメンバーは明日の決勝に備えて休養させた。結果26対15と予想外の点差で決勝進出を果たした。

8月10日、女子の決勝戦が纏れに纏れて第2延長となり落ち着かぬ状態で決勝戦を迎えた。相手はもちろぬ優勝候補の筆頭・春夏2連覇を狙う東京都明星高校。前日の熊本市商高校との対戦を見る限りでは全く勝ち目は無かった。前半は互角に戦って9対8と1点リード。後半相手のシュートミスやGK加藤君の好守によって速攻が決まり、残り10分頃には18対10と大きく点差が開いた。しかし流石に春の全国選抜大会優勝チーム、退場者を出したスキに6点連取され18対16と2点差まで追いつけられた。しかし、残り2分、キャプテンの永山君がミドルシュートを決めて19対16試合を決定づけてくれた。結局19対17、2点差で5年振り2度目の優勝を果たすことが出来た。

今大会を振り返ってみると、まず埼玉県のレベルがとても高く、県内大会を勝つことの方が全国で勝つことより難かしく、勝てば大きな自信となる。次に審判技術の向上の伴いディフェンス力が一層強化されて来たこと。そして何よりも選手一人一人の心を個人ノーマーミーティングなどによって掴み取ることが出来たことにある。一戦一戦ごとにまとまり強くなった。気負わず楽しく試合に参加出来たからであろうか? 今は選手一人一人に深く感謝している。

最後に埼玉県の役員の皆様方、学校関係各位の皆様方、並びに御父兄の皆様方誠に御支援、御協力ありがとうございました。また、高知県ハンドボール協会の酒井先生をはじめ多くの皆様方には大変御世話になりました。誠にありがとうございました。

第2回全国小学生大会

(8月1~3日) 京都府田辺町

男子

予選リーグ

○Aブロック

中央北小14 (熊本) 14 (9-11) 5-5 6 三重選抜 (三重)

中央北小11 5-2 2 4 八幡市選抜 (京都)

中央北小13 6-7 5-3 8 守谷ク (茨城)

中央北小15 8-7 2-5 7 田辺選抜 (京都)

守谷ク12 5-7 5-3 8 三重選抜

守谷ク11 5-6 4-2 6 八幡市選抜 B

守谷ク10 6-4 3-3 6 田辺選抜

田辺選抜21 9-12 3-3 6 三重選抜

田辺選抜12 9-3 4-2 6 八幡市選抜 B

八幡市選抜 B 12 7-5 3-1 4 三重選抜

(順位) ①中央北小 ②守谷クラブ

③田辺選抜 ④八幡市選抜 B ⑤三重選抜

○Bブロック

宮城小21 (沖繩) 11-10 0 沼津少年団 (静岡)

宮城小15 6-9 1-1 2 和歌山市教室 (和歌山)

宮城小17 8-9 0-1 1 田辺東小 (京都)

宮城小21 8-13 1-1 2 徳島スチール (徳島)

田辺東小22 10-12 1-4 5 沼津市少年団

田辺東小18 8-10 3-4 7 和歌山市教室

田辺東小24 10-14 1-0 1 徳島スチール

和歌山市教室12 6-6 3-2 5 沼津市少年団

和歌山市教室16 8-8 4-3 7 徳島スチール

徳島スチール15 11-4 5-2 7 沼津市少年団

(順位) ①宮城小 ②田辺東小 ③和歌山市ハンドボール教室 ④徳島ハンドボールスクール ⑤沼津市ハンドボール少年団

○Cブロック

大宮北小19 (栃木) 5-14 1-1 2 愛知県教室 (愛知)

大宮北小15 6-9 4-1 5 貝塚パーティーズ (大阪)

大宮北小22 8-14 3-1 4 八幡市選抜 A (京都)

貝塚パーティーズ15 8-7 1-5 6 愛知県教室

貝塚パーティーズ21 12-9 3-2 5 八幡市選抜 A

愛知県教室11 6-5 0-2 2 八幡市選抜 A

(順位) ①大宮北小 ②貝塚パーティーズ ③愛知県ハンドボール教室

④八幡市選抜 A

○Dブロック

上庄児童ク16 (富山) 12-4 1-7 8 草内小 (京都)

上庄児童ク14 7-7 3-1 4 瀬戸ジュニア (岡山)

上庄児童ク13 5-8 4-3 7 真弓ク (奈良)

草内小23 14-9 1-1 2 瀬戸ジュニア

草内小13 8-5 7-4 11 真弓ク

真弓ク15 9-9 2-2 4 瀬戸ジュニア

(順位) ①上庄児童クラブ ②草内小 ③真弓クラブ ④瀬戸ジュニア オールスターズ

決勝トーナメント1回戦

中央北小10 1-4 0-4 8 草内小

宮城小15 10-5 1-1 2 貝塚

大宮北小12 9-3 3-8 11 田辺東小

上庄児童ク8 4-4 2-5 7 守谷ク

準決勝

宮城小8 5-3 4-2 6 中央北小

上庄児童ク10 5-5 3-4 7 大宮北小

3位決定戦

中央北小17 9-8 2-4 6 大宮北小

宮城小12 9-3 5-2 7 上庄児童ク

女子

予選リーグ

○aブロック

明野西ク14 (大分) 8-6 1-1 2 真弓ク (奈良)

明野西ク18 10-8 3-2 5 大宮北小 (栃木)

真弓ク12 2-10 4-3 7 大宮北小

(順位) ①明野西ハンドボールクラブ ②真弓クラブ ③大宮北小

○bブロック

沢岬小20 (沖繩) 10-10 1-2 3 三重選抜 (三重)

沢岬小19 9-10 1-1 2 田辺小 (京都)

田辺小14 7-7 0-4 4 三重選抜

(順位) ①沢岬小 ②田辺小 ③三重選抜

○cブロック

守谷ク14 (茨城) 6-8 3-1 4 田辺選抜 (京都)

田辺選抜 12-0 愛知県教室 (順位) ①守谷クラブ ②田辺選抜 ③愛知県ハンドボール教室

○dブロック

網津小16 (熊本) 8-8 5-2 7 仏生寺少年団 (富山)

網津小24 8-16 6-0 6 八幡選抜 (愛知)

仏生寺少年団17 9-8 1-1 2 八幡選抜

(順位) ①網津ハンドボール部 ②仏生寺スポーツ少年団 ③八幡市選抜

決勝トーナメント1回戦

明野西小17 8-9 4-2 6 仏生寺

沢岬小25 15-10 4-3 7 田辺選抜

守谷ク12 7-5 3-1 4 田辺小

網津小21 11-10 3-2 5 真弓ク

明野西小10 4-6 4-5 9 沢岬小

網津小8 6-2 1-2 3 守谷ク

3位決定戦

沢岬小15 8-7 3-2 5 守谷ク

決勝

明野西小13 1-2 6-3 4 網津小

第11回東日本学生選手権

(8月23~27日/横浜文化体育館ほか)

男子

予選リーグ

○Aブロック

早稲田大 31 | 7 小樽商科大
拓殖大 23 | 14 富山大
富山大 26 | 13 小樽商科大
早稲田大 26 | 12 拓殖大
拓殖大 17 | 12 小樽商科大
早稲田大 31 | 13 富山大

(順位)①早稲田大②拓殖大③富山大④小樽商科大

○Bブロック

筑波大 33 | 16 新潟大
東北学院大 17 | 16 東京経済大
筑波大 27 | 12 東京経済大
東北学院大 25 | 24 新潟大
東京経済大 21 | 17 新潟大
筑波大 31 | 12 東北学院大

(順位)①筑波大②東北学院大③東京経済大④新潟大

○Cブロック

国士館大 30 | 9 金沢大
順天堂大 35 | 10 仙台大
国士館大 28 | 12 仙台大
順天堂大 27 | 10 金沢大
仙台大 18 | 18 金沢大
国士館大 22 | 12 順天堂大

(順位)①国士館大②順天堂大③仙台大④金沢大

○Dブロック

仙台大④金沢大

○Eブロック

日本大 37 | 17 北海学園大
法政大 34 | 16 山形大
日本大 26 | 7 山形大
法政大 35 | 12 北海学園大
山形大 24 | 23 北海学園大
日本大 24 | 18 法政大

(順位)①日本大②法政大③山形大④北海学園大

○Fブロック

函館大 27 | 15 岩手大
東海大 35 | 14 一橋大
函館大 31 | 9 一橋大
東海大 22 | 10 岩手大
岩手大 29 | 12 一橋大
東海大 16 | 11 函館大

(順位)①東海大②函館大③岩手大④一橋大

○Gブロック

東北福祉大 28 | 11 福井大
慶応大 17 | 16 明治大
明治大 21 | 18 東北福祉大

(順位)①東北福祉大②慶応大③明治大④東北福祉大

○Hブロック

慶応大 24 | 13 福井大
明治大 27 | 10 福井大
慶応大 26 | 11 東北福祉大
(順位)①慶応大②明治大③東北福祉大④福井大

○Iブロック

金沢工大 29 | 23 福島大
中央大 22 | 17 玉川大
金沢工大 22 | 18 玉川大
中央大 31 | 13 福島大
福島大 25 | 24 玉川大
中央大 33 | 14 金沢工大

(順位)①中央大②金沢工大③福島大④玉川大

○Jブロック

日本大 18 | 9 | 12 17 中央大
筑波大 10 | 15 | 9 | 12 21 国士館大
早稲田大 12 | 20 | 10 | 8 18 東海大
日本大 15 | 15 | 7 | 8 15 慶応大

準決勝

筑波大 18 | 9 | 9 | 8 17 日本大
日本大 21 | 12 | 9 | 11 19 早稲田大
3位決定戦
早稲田大 12 | 11 | 9 | 6 15 日本大
決勝
日本大 24 | 12 | 12 | 10 19 筑波大

女子

東女体大 51 | 4 山形大
山形大 13 | 12 金沢大
東女体大 39 | 5 金沢大
(順位)①東京女子体育大②山形大③金沢大

○aブロック

東女体大 23 | 13 | 10 | 4 13 日体大
筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大

○bブロック

日体大 25 | 9 東海大
東海大 28 | 9 富山大
日体大 40 | 4 富山大
(順位)①日体大②東海大③富山大

○cブロック

筑波大 27 | 10 東京学芸大
東北福祉大 14 | 14 東京学芸大
筑波大 21 | 11 東北福祉大
(順位)①筑波大②東北福祉大③東京学芸大

○dブロック

日女体大 32 | 4 茨城大
明德短大 11 | 11 茨城大
日女短大 22 | 13 明德短大
(順位)①日本女子体育大②千葉明德短大③茨城大

決勝トーナメント1回戦

筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大
東女体大 30 | 15 | 15 | 9 | 6 15 日体大

3位決定戦

筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大

決勝

東女体大 23 | 13 | 10 | 4 13 日体大

筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大

東女体大 23 | 13 | 10 | 4 13 日体大

筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大

東女体大 23 | 13 | 10 | 4 13 日体大

筑波大 12 | 6 | 6 | 3 | 8 11 日体大

A4版84ページ・カラーページにスーパーショット満載!

月刊誌スポーツイベントハンドボール

毎月20日全国書店にて発売中!

1冊¥600 年間購読(1年間12冊・¥7,200/半年間6冊・¥3,600)

(株)スポーツイベント 〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F ☎03-294-5231(代)

東海

静岡県高校総体

(日程、場所不明)

〈男子〉

▼1回戦

小山 16 | 9

清水東 17 | 13

沼津東 21 | 14

静岡東 不明

▼2回戦

清水市商 25 | 3

富士 12 | 0

星陵 20 | 10

清水東 20 | 10

伊豆中央 18 | 6

静岡農 27 | 11

二保 13 | 12

静岡南 14 | 13

▼3回戦

清水市商 28 | 11

星陵 18 | 16

静岡農 21 | 17

静岡南 21 | 17

静岡南 21 | 17

▼決勝リーグ

清水市商 20 | 16

静岡南 21 | 17

静岡南 21 | 17

清水市商 15 | 10

小松商 12 (6 | 3 | 4) 7 福井商

▼決勝

福井商 14 | 13

小松商 24 | 7

新潟江南

小松市女

星陵

清水市商 25 | 15

静岡農 14 | 14

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡北

静岡農

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

静岡農

静岡南

"WITH YOU"



先進のテクノロジーで明日を見つめます

あらゆる用途の特殊鋼、そして各種機械製品の供給を通じて未来社会の建設に参加している大同特殊鋼。私たちのテクノロジーは、宇宙開発に、原子力開発に、そしてあらゆるエレクトロニクス産業に、いま大きく花開こうとしています。より豊かな明日を、あなたとともに築くために——。



大同特殊鋼

本社 千460 名古屋市中区錦1-11-18(興銀ビル)
☎(052)201-5111(大代)
支社/東京 支店/大阪

ソウルで活躍した、 もっぴひとこのジャパン。

これが頂点。ソウル・オリンピックの日本選手団に
採用されたスカイハンド®ジャパンα-S

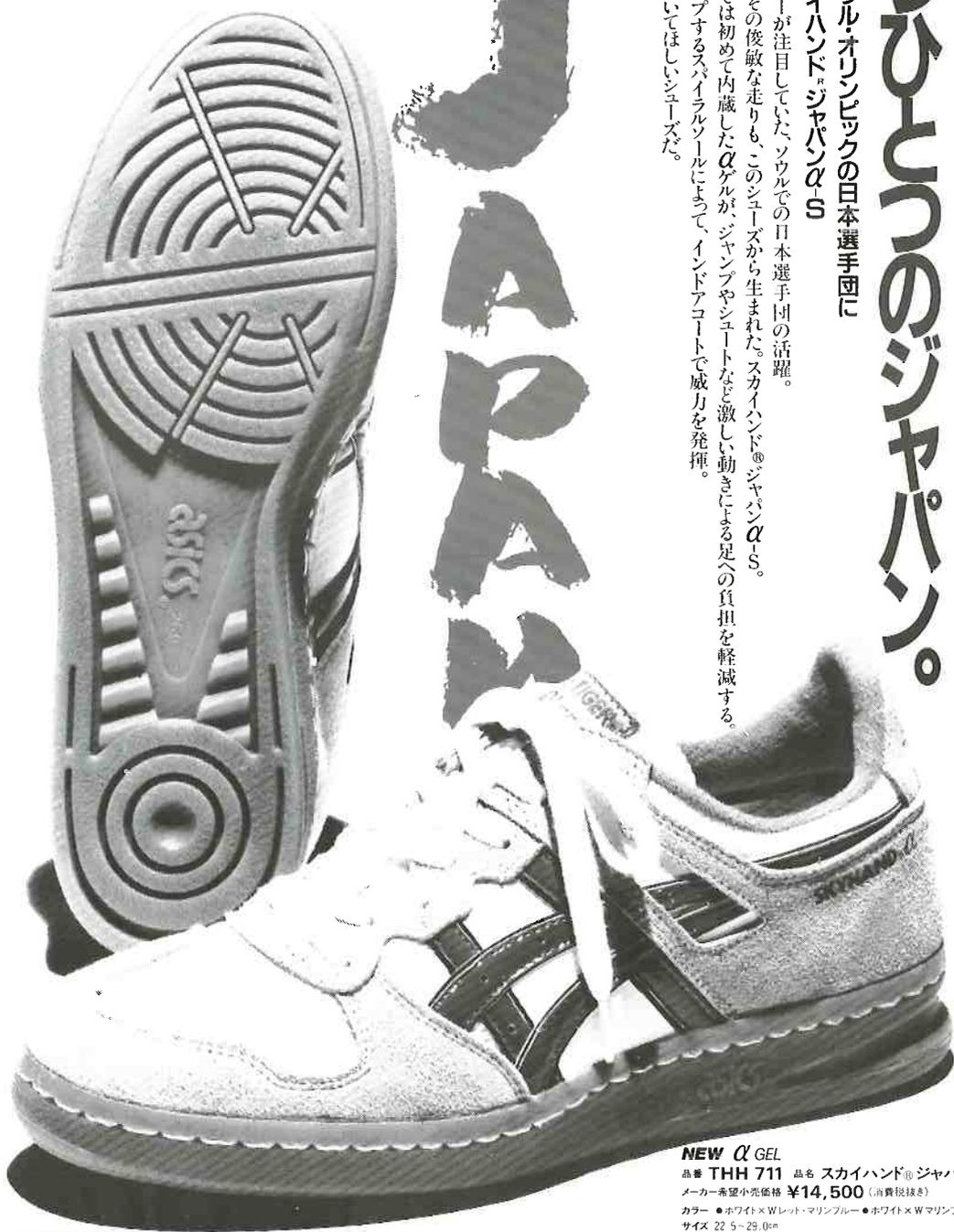
すべてのソンドポラーが注目していた、ソウルでの日本選手団の活躍。

その鋭い切れ味も、その俊敏な走りも、このシューズから生まれた。スカイハンド®ジャパンα-S。

ソンドポラーシューズでは初めて内蔵したαゲルが、ジャンプやシュートなど激しい動きによる足の負担を軽減する。

吸いつくようにグリップするスパイラルソールによって、インドアコートで威力を発揮。

これは、胸をはって履いてほしいシューズだ。



NEW α GEL

品番 THH 711 品名 スカイハンド® ジャパンα-S

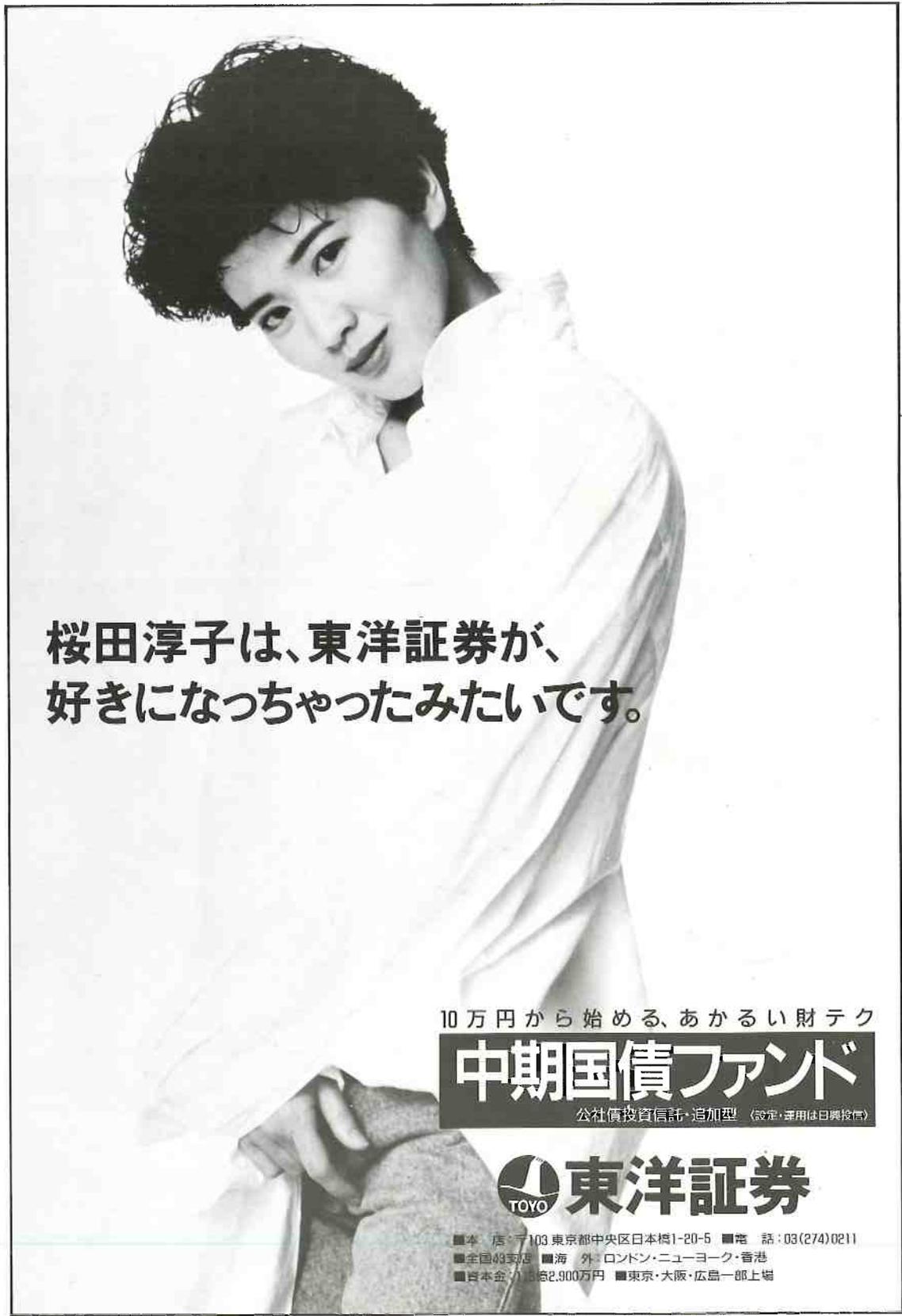
メーカー希望小売価格 ¥14,500 (消費税抜き)

カラー ●ホワイト×Wレット・マリンブルー ●ホワイト×Wマリンブルー・レット
サイズ 22.5-29.0cm

asics TIGER

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ
〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814(専用)・(03) 624-2221(大代表)
●Rは®アシックスの登録商標です

株式会社 アシックス



桜田淳子は、東洋証券が、
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク

中期国債ファンド

公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投資)



東洋証券

■本 店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電 話：03(274)0211
■全国49支店 ■海 外：ロンドン・ニューヨーク・香港
■資本金：1兆2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二九二号

昭和四十年六月
第三種郵便物認可

平成一年九月二十六日 印刷
平成一年十月一日 発行

東京都渋谷区 一三六一
電話 代表 一三六一
振替 東京 六一五八三四八番
編集兼 安藤純光
発行人

定価三百五拾円
(年間購読料)
三千三百円